

研究対象者等に通知し、または公開すべき事項

- ・研究対象者に通知または公開する方法

京都大学複合原子力科学研究所のホームページに掲載する。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

研究課題名

BNCT における intra-fractional set-up error の検討

研究の目的

京都大学複合原子力科学研究所では研究用原子炉から発生する中性子線を利用して BNCT 臨床研究が実施されている。頭頸部腫瘍や一部の脳腫瘍において座位での照射が行われており、今後の BNCT による治療の高精度化のために set-up error のデータが必要である。本研究では 2018 年度の BNCT 臨床試験時に撮影された中性子照射前後での CR 画像を用い、1 時間前後の照射時間が必要な 1 回照射で実施されている BNCT の照射中の患者の体位移動による intra-fractional set-up error を検討する。

本研究の対象者

2018 年度に京都大学複合原子力科学研究所・原子炉医療診療所において、座位の照射体位で BNCT を実施した患者。

研究方法

中性子照射前後に撮影した CR 画像から、照射位置のズレを算出し、セットアップエラーの解析を行う。医療画像から算出された照射位置のズレの位置情報を、頭部ファントムの CT 画像に反映させることで線量分布の変化を解析する。

研究期間

2020 年（令和 2 年）6 月 1 日～2021 年（令和 3 年）3 月 31 日

② 利用又は提供する試料・情報の項目

中性子照射前後に取得して CR 画像の医療画像情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう加工して使用する）。

診療録より取得する BNCT 照射体系情報（照射中心座標、コリメーターサイズ、照射軸情報、等）。氏名、生年月日、住所などの個人を特定する情報は使用しない。

③ 利用する者の範囲

研究責任者 京都大学複合原子力科学研究所 教授 鈴木 実

研究分担者	京都大学複合原子力科学研究所	特定助教	玉利 勇樹
	京都大学複合原子力科学研究所	准教授	櫻井 良憲
	京都大学複合原子力科学研究所	准教授	田中 浩基
	京都大学複合原子力科学研究所	助教	高田 卓志
	京都大学複合原子力科学研究所	技術職員	栗原 孝太

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

京都大学複合原子力科学研究所 教授 鈴木 実

⑤ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する方法

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人に停止を求められれば、下記の連絡先に連絡を受け、研究対象から除外する。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

下記連絡先に電話またはメールにて求めを受け付ける。

担当者 責任者氏名：鈴木 実 所属：京都大学複合原子力科学研究所 職名：教授

連絡先

電話番号:072-451-2390

メールアドレス：msuzuki*rri.kyoto-u.ac.jp(*は@に置換えて)

・個人情報の取り扱い

研究用の番号と研究対象者の名前を結び付ける対応表を当研究所の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用する。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理する。情報は、当研究所の研究責任者が責任をもって適切に管理する。研究成果は学会や学術雑誌で発表されるが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しない。